

# AOYAMA OIKOS NOMOS



青山学院大学経済学部同窓会会報

2005. 5.15 アオヤマオイコスノモス 第10号

## 行って来ました愛知万博(愛・地球博)

石田 心也 (H7)

オイコスノモスは2回目の投稿となります。東京には月に2~3度出張で参ります。その際、名古屋の景気はどうかね?と質問をよく受けます。特に本年は2月に中部国際空港がオープンし、3月には万博が始まり、鉄道も道路も週末は渋滞等でどえらいこと(名古屋弁使用:注訳・大変なこと)になっております。会社でも7月に1泊の愛知万博見学を企画した際、結構ホテルが予約で一杯なのには驚きました。また万博会場近くのコンビニでは世界から集まった外人さんたちが集団で夜中弁当を買いに行くので、地元の不良たちが外国人集団に恐れをなしてたむろしくなくなったとのニュースも報道されました。

さて、ここからは万博レポートに入りたいと思います。当日(4/17)はポカポカ陽気ではありましたが、混雑を予想していたので午後から家を出ました。愛知万博は「自然の叡智」をテーマに今年9月まで半年間開催されます。日本では、大阪万博以来35年ぶりの国際博覧会となります。万博会場近くには戦国時代(1584年)天下統一の地固めをする秀吉軍と織田信長の次男信雄・家康連合軍とが戦った「長久手の古戦場」があり、歴史好きな方にはたまらない旧跡でもあります。

さて、愛知万博会場に入りますと高架式回廊「グローバル・ループ」が巡っており各国のパビリオンを結んでいます。名前しか知らなかった国の様子が少し理解できました(綺麗なコンパニオンも目の保養に...)。ループ内に造られた「グローバル・ハウス」では、地球の誕生や生命の発生が体感できます。目玉のパビ

リオンですが、私は三菱未来館「もしも月がなかったら」とJR東海超伝導リニア館そして長久手日本館の3ヶ所を見てきました。特に長久手日本館はおすすめです。完全予約制で中に入るとはできませんでしたが「サツキとメイの家」へ行く道中は日本庭園もあり散歩コースとしてもおすすめです。のんびりと過ごしたい人向きです。全体を見ての感想ですが一言で言うと奥が深いイベントだと思いました。ただ見て回るだけなら物足りなさを感じるかも知れません。各イベントを見ながら将来環境とどう自分は関わっていくのか考えさせられました。私にとって1度見ただけではもったいないイベントと思いました。是非遠方から来られお泊りの際は石田まで一声かけてください。味噌カツ、ひつまぶしなど一緒にしましょう。

以下万博における注意点を書きましたのでご参考まで。

### 万博ワンポイントアドバイス

- ・歩き易い靴で(とにかく歩く!)
- ・日差し対策(帽子、日傘、日焼け止め)
- ・比較的すいているのは、外国館。
- ・夕方から夜にかけては人気パビリオンも入り易いかも?
- ・世界の食べ物を味わえる(おいしい!)



人気企業パビリオンの前です



サツキとメイの家

## 臨時総会報告

天野 知恒 (S31)

2005年2月24日(木) 18:30より青学会館ナルドの間において臨時総会が行われました。

急な通知で、出席人員が心配されたが70名近くの出席があり盛会でした。今回の臨時総会は、校友会の改革、大学同窓会連合会の発足により新校友会代議員と大学同窓会連合会代表委員の選出が急務だったことと、それらに伴い経済学部同窓会会則の一部改正が必要になったことにより開催されました。

総会は石井副会長による活動報告、活動予定の説明から始まり、新校友会について飯村常任幹事(校友会副会長)が改革実行の経過について報告し、校友会が旧来の社団法人から任意団体に移行すること、すべての校友に開かれた校友会になるための諸方策について理解を深めました。



恒例になりつつあるゼミ教授学生による講演会は、熊谷彰矩教授ゼミから「新市場創造のための規制改革—社会福祉分野の活性化に向けて」のプレゼンテーションがありました。私達にも興味のあるテーマで大好評であり、学生の研究活動に感銘をう



熊谷教授とゼミ生

会則一部変更の主な点は以下の3点です(1)第二章 会員の項にアクティブ会員を新たに加えました。これは全卒業生が学部同窓会の会員となることにより、会費を継続して納入されている会員と一般会員とのよい意味での差別化を計るためです。(2)第5条 総会の項を校友会代議員、大学同窓会連合会代表委員の選出と変更しました。(3)第7章 会計の項に新たに10年会費20,000円を新設しました。これは昨年末、林常任幹事を中心に推進している会員増強策討議の過程から生れたものです。10年間で1万円の割引となり、終身会費とは別に年令制限は設けませんので会員各位にはメリットが多くなります。

新校友会代議員、大学同窓会連合会代表委員の選出については森会長より提示された方々が万場一致で選出されました。



けたひとときでした。また他の大学同窓会に先駆けて、経済学部同窓会が設けた奨学金を給付されている学生2名の出席もあり、感謝のスピーチがありました。





## 「校友会」と「同窓会」

飯村 肇 (S35)

社団法人青山学院校友会が05年3月31日に解散し、05年4月1日に新しく任意団体の青山学院校友会が設立され、発足したことは「青学チャイムズ」や「校友会ホームページ」などで、ご承知のことと思います。

校友(卒業生)の間では「校友会」に対する関心が以前に比較すると高まってきています。経済学部同窓会は経済学部の卒業生を構成母体としており、また校友会大学部会の構成母体となっています。

卒業生は卒業時に全員、自動的に「経済学部同窓会会員」となり、同時に「校友会大学部会の所属会員」となります。大学部会は大学の卒業生全員をその構成母体としています。

校友会大学部会と経済学部同窓会運営の相違点を挙げれば、大学部会が在学時に支払う「校友会入会金」を原資として運営されているのに対し、経済学部同窓会は卒業後に支払う「年会費」や「終身会費」などを原資として運営されていることです。

校友会の新「会則」では同窓会の「自主性と独自性の尊重」を

謳っています。経済学部同窓会は「会則」で「独自性」の表れとして「会員相互の親睦」と共に、「研鑽を図る」ことを謳い、講演会の定期的な開催を計画し実施しています。講演内容は、学生も参考になるようなテーマも準備し、現役学生も参加できるよう配慮しています。また、「自主性」の表れとして、他学部の同窓会に先駆けて「青山EVERGREEN21 募金」に協賛し、後輩支援のため経済学部の現役学生を対象に「経済学部同窓会給付奨学金」を新設し、ささやかではありますが、昨年度から給付を開始しました。できれば永く継続して支援していきたいと考えております。

これらの活動は、同窓会会員の「年会費」や「終身会費」また今回新設された「10年会費」などの「同窓会費」により運営されています。「校友会」への関心の高まりと同時に「経済学部同窓会活動」に対する理解も深まり、「同窓会費」を支払って下さる「ACTIVE会員」(年会費納入会員のこと)が一人でも増加すれば、と期待しております。

## この選手にクローズアップ

磯部守孝 (S53)

体育会に所属する経済学部の選手にインタビューするこの企画の第2回は、昨年度の全日本大学グレコローマン選手権で準優勝されました、レスリング部の板倉史也君(2年生、164cm 70kg)にお話をうかがいました。

磯部：出身高校はどちらですか？

板倉：「秋田経法大学付属高校です」

磯部：野球も強い学校ですね。レスリングはいつ頃からはじめたのですか？

板倉：「小・中学校は柔道をやっていまして、始めたのは高校からです」

磯部：高校時代も強かったとお聞きしていますが？

板倉：「それほどでもないですが、国体で2位、インターハイで3位といったところですよ」

磯部：高校から始めたのですから立派なものですよ。ところで、この前のインカレでは惜しかったですね。

板倉：「ハイ、ちょっと残念でした。高校時代は63kg級でしたが、大学に入り66kg級になって1階級上がってまだ慣れていませんが、4年生までにタイトルを取りたいと思っています」(因みに55～82kg級まで8階級あるそうです)

磯部：今、部員は何名ですか？

板倉：「4年生7名、3年生4名、2年生4名、1年生3名の18名で品川区内で合宿生活をしています」

磯部：そう言えば偶然に私の自宅の近くでしたね、時々みんな揃ってランニングをしているのを見かけますよ。

板倉：「先輩も優しく、みんなで楽しくやっています。山川監督や長島コーチにも熱心に指導して頂き、青学でレスリングができて本当に幸せです」

磯部：将来の夢を聞かせて下さい。

板倉：「青学の先輩で新日本プロレスの中邑真輔選手に憧れているので、総合格闘技の道も夢見ています」

板倉君は秋田人らしい素朴な中にも、礼儀正しさと素直さが感じられる好青年でした。レスリング部といえば元監督三宅選手がアトランタ・オリンピックに出場したことのある名門です。その復活を大いに期待したいと思っています。



板倉選手

## INFORMATION

- ◆2005.6.16(木) 2005年度総会・講演会・懇親会
- ◆2005.7.14(木) 講演会
- ◆2005.9.23(金) 第12回大学同窓祭
- ◆2005.12.中旬までに幹事会ご案内発送
- ◆2006.1.19(木) 幹事会・講演会
- ◆2006.2.15(水) 第11号オイクスノモス発行
- ◆2006.3.25(土) 卒業生に対する入会案内配布
- ◆2006.5.中旬までに総会ご案内発送
- ◆2006.6.15(木) 2006年度総会・講演会・懇親会

## AONサロン

## 「経済研究所の看板」

経済学部教授 矢吹 初

大学8号館6階に経済研究所があります。以前あった経済研究所は大学の組織変更に伴って名称を「経済研究調査室」に変更されました。今から約20年前のことです。それからはずっと経済研究調査室と呼ばれていました。私が就任したときにはすでに経済研究所はありませんでした。しかし何人かの年配の先生方(皆さんもう退職なさっていますが)がことある毎に「いつか経済研究所を復活させる」とおっしゃっていたのをよく覚えています。「どうやら私の就任した経済学部では経済研究所というものがあると大切な存在らしい」ということを直感しました。

その私の直感を強化した事件が起こります。ある日のこと、確か教授会の前、ある先生(この方もすでに退職)が「矢吹、ちょっと来い。いいものを見せてやる」と私を呼びます。私も単純に「いいもの?」とワクワクしながらついていきました。その先生が書棚の奥から取り出したもの……それが「経済研究所の看板」だったのです。「これがいいもの?」私はびっくりです。「これをもう一度かけるためにな、ここに隠してあるんだあ」とその先生。その先生の顔はふざけている感じではない。「……。どうやら根が深そうだぞ。あまりかかわるのはやめよう」と真剣に思ったものです。

しかしどういう因果か、私が「経済研究調査室」の主事(有り体に言えば雑用係)を仰せつかった2004年、学部長から「経済研究所を復活させるから、尽力せよ」との命令が下ります。多くの退職なさった先輩教授たちの思いを知っている私としては複雑な気持ちでした。「私はやりたくないけど、みんなはやってほしいんだろうな……期待に応えないと後が怖いかも」という気持ち。)幸い、経済学部全体が取り組んだプロジェクトでしたから、特に私が何をしたわけでもないのに、ちゃんと経済研究所ができてしまいました。

経済研究所の役目は、経済学部の研究を外に向けて発信すること、すなわち外に向けて開かれる経済学部の窓です。ぜひ皆様も近くにお越しの際はお立ち寄りください。大変きれいな研究所です。もちろん、入り口に件の「研究所の看板」があります。

2004(平成16)年度 収支報告書  
自 2004年4月1日 至 2005年3月31日

## 収入の部

(単位:円)

| 科目       | 予算額        | 決算額        | 増減        |
|----------|------------|------------|-----------|
| 1. 会費収入  | 2,400,000  | 2,128,000  | △ 272,000 |
| 2. その他収入 | 70,000     | 30,005     | △ 39,995  |
| 1) 雑収入   | 70,000     | 30,000     | △ 40,000  |
| 2) 預金利息  |            | 5          | 5         |
| 当期収入合計   | 2,470,000  | 2,158,005  | △ 311,995 |
| 前期繰越金    | 9,233,327  | 9,233,327  |           |
| 収入合計     | 11,703,327 | 11,391,332 | △ 311,995 |

## 支出の部

(単位:円)

| 科目       | 予算額       | 決算額       | 増減        |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 事業費   | 400,000   | 343,357   | △ 56,643  |
| 2. 会報発行費 | 400,000   | 324,310   | △ 75,690  |
| 3. 印刷費   | 500,000   | 336,455   | △ 163,545 |
| 4. 通信交通費 | 300,000   | 304,049   | 4,049     |
| 5. 会議費   | 200,000   | 143,960   | △ 56,040  |
| 6. 事務費   | 200,000   | 40,733    | △ 159,267 |
| 7. 名簿管理費 | 300,000   | 410,340   | 110,340   |
| 8. 奨学金   | 300,000   | 302,394   | 2,394     |
| 9. 雑費    | 100,000   | 42,256    | △ 57,744  |
| 当期支出合計   | 2,700,000 | 2,247,844 | △ 452,156 |
| 当期収支差額   | △ 230,000 | △ 89,839  | 140,161   |
| 前期繰越金    | 9,233,327 | 9,233,327 |           |
| 次期繰越金    | 9,003,327 | 9,143,488 | 140,161   |

## 編集後記

清水美子 (S39)

去る2月24日、経済学部同窓会の臨時総会・講演会が行われ、第1回給付奨学生となられた学生諸君も参加されました。これは現役の学生に同窓会の存在を広く認識してもらう為にも、どうしても実現したいと願っていた奨学金制度が順調に動き始めたことであり、大変嬉しい出来事でした。会終了後には、講演会を担当された熊谷ゼミの学生達と会食を共にし、いろいろな質問を受け、先輩としてのアドバイスをするなど有意義な接触が得られました。彼らは経済学部同窓会にきつと良い印象を持ち、親しみを感じてくれたことと確信いたしました。また、懇親会では小峰あずき会員が新曲を披露して下さいました。袖摺り合うも多少の縁と申しますが、同じ学び舎、同じ学部で学んだ仲間として応援しようではありませんか。

我々は嘗て経験したことのない少子高齢化、人口減少という厳しい環境に突入することになります。国や地方公共団体、そして各種の団体なども改革を掲げ苦慮しています。我が学院の校友会も新しく様変わりし、経済学部同窓会も会員増強の一環として、10年2万円と会費を払い易くするコースを新設しました。どうぞ御友人をお誘い下さり、このコースを使って御入会下さるようお勧め下さい、お待ちしております。

青山学院大学経済学部同窓会会報 第10号  
2005年5月15日発行

発行者 森 啓

発行所 青山学院大学経済学部同窓会

(青山学院大学経済学部・石井信之研究室内)

〒150-8366東京都渋谷区渋谷4-4-25 Tel.03-3409-8111 (内線12817)

www.econ.aoyama.ac.jp/dousokai/toppage/index.html

皆様からの情報やご投稿、入会申込、会費納入等のお問合せは下記へ!

〒150-8691渋谷郵便局 私書箱145号

aogaku-kei.dosokai@com.home.nc.jp